

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（教育文化施設：芦屋中学校校舎（教室棟）改修）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町中ノ浜3635-1						
補助事業の成果の目標	芦屋中学校は、昭和43年度（築47年）に建設され、老朽化が著しく近年、修繕費用を必要とする状況にある。今回、改修する校舎（管理教室棟）の屋上防水は昭和62年度の改修から28年が経過し、防水の耐用年数も過ぎている。また、屋上の給水設備においても、平成2年度に新設してから25年が経過しており、老朽化が著しい状況である。このことから、屋上防水改修に併せ屋上給水設備の改修も行う。 将来にわたり修繕費や管理作業を軽減し、校舎等の長寿命化を図り、今後も安定的に使用できる措置を実施することで、生徒が安全に安心して利用できる環境を整備する。						
補助事業の内容	校舎（教室棟）改修工事 一式 ・校舎（教室棟）屋上防水工事						
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成26年度						
事業費及び交付金額		23年度	24年度	25年度	26年度		計
	事業費	円 1,984,500	円 0	円 0	円 28,485,000	円	円 30,469,500
	交付金額	1,984,000	0	0	28,095,000		30,079,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎（教室棟）の改修を行ったことにより、教員や保護者から「安心して生徒が授業等に取り組むことができる」との意見が寄せられており、学校施設の環境改善及び長寿命化に寄与することができた。 ・改修後1年間、雨漏り状況を確認したところ、改修により雨漏りが止まっており環境改善が図れた。 ・改修後1年間、屋上給水設備、消火設備の状況について点検報告書により確認したところ、不具合なく機能していた。 ・周知については、芦屋中学校学校だより及び沿革史に掲載し、実施した。 						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共用施設（教育文化施設：町民会館改修工事）整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町中ノ浜11-6（町民会館）						
補助事業の成果の目標	町民会館は昭和41年度（築48年）に建設され、年間631回20,124人が利用するなど、本町における地域の文化活動発表の拠点として利用されている。しかし、施設の老朽化が進んでおり、外壁の崩落による通行人への被害が懸念されるほか、雨漏りによる利用者への支障など、当該施設の更新が必要となっている。より快適に利用できる施設を提供するとともに、コミュニティ形成の場としての機能向上を目指し、魅力ある施設として再整備するものである。						
補助事業の内容	町民会館改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 28,833,861	円	円	円	円	円 28,833,861
	交付金額	28,833,000					28,833,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	改修後、利用者へアンケートを実施した結果、「外壁改修により安全性が向上した。」等の意見が寄せられており、また、雨漏りも止まったことから改修工事により施設の機能向上が図られた。 周知については、工事期間中「特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)による工事」である旨の看板を施設に掲示し、周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連公共施設(環境衛生施設：小体育館トイレ改修)整備事業						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町中ノ浜12番23号(芦屋町小体育館)						
補助事業の成果の目標	小体育館は昭和54年に建築され、年間約30,000人が利用するなど、本町における地域スポーツ活動の拠点として広く利用されている。しかし高齢化が進む現代、利用者の高齢化も推察されるため、トイレの洋式化と手すりの設置などを行い、高齢化が進む町として、使用者の利便性及び安全性に配慮した施設の充実化を図る。						
補助事業の内容	トイレ改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		26年度					計
	事業費	円 3,451,013	円	円	円	円	円 3,451,013
	交付金額	3,451,000					3,451,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	改修後、利用者へアンケートを実施した結果、利便性・安全性が向上し、利用団体によっては高齢者が多いので使いやすく助かっている等の意見が寄せられており、改修工事により施設の充実化が図られた。 また、工事期間中「特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛省)による工事」である旨の看板を施設に掲示し、周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。
2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	芦屋飛行場関連特定事業(医療に関する事業:芦屋町乳幼児・子ども医療費助成事業基金)						
補助事業者名	芦屋町長						
実施場所	芦屋町						
補助事業の成果の目標	芦屋町は子育て支援策として、疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの保健の向上と福祉の増進を図るため、中学生以下の子どもの医療費助成を行っている。 このため、芦屋町乳幼児・子ども医療費助成事業基金を設置し、保護者の自己負担分へ助成金を充てることで、子育て世帯の負担軽減を図り、子育て支援に寄与することを目標とする。						
補助事業の内容	芦屋町乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例により支給する費用の全額又は一部の額について助成するものとする。						
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成31年度						
事業費及び交付金額 (単位:円)		23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	基金 造成 額	交付金額	101,217,000	44,691,000	65,406,000	50,772,000	262,086,000
		市町村費等	0	0	0	0	0
		運用益	0	18,135	17,511	292,870	328,516
		計	101,217,000	44,709,135	65,423,511	51,064,870	262,414,516
	基金処 分額	0	15,000,000	15,000,000	18,000,000	48,000,000	
基金残 額	101,217,000	130,926,135	181,349,646	214,414,516			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	26年度の医療費助成件数は22,029件となっている。また、対象者へのアンケート調査を実施した結果、「子育て世帯の負担軽減に役立っており、今後も医療費助成を続けてほしい」という意見が寄せられており、子育て支援に寄与することができた。 特定防衛施設周辺整備調整交付金により助成していることを、広報誌やHPでの掲載をすることで地域住民へ周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	無						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。